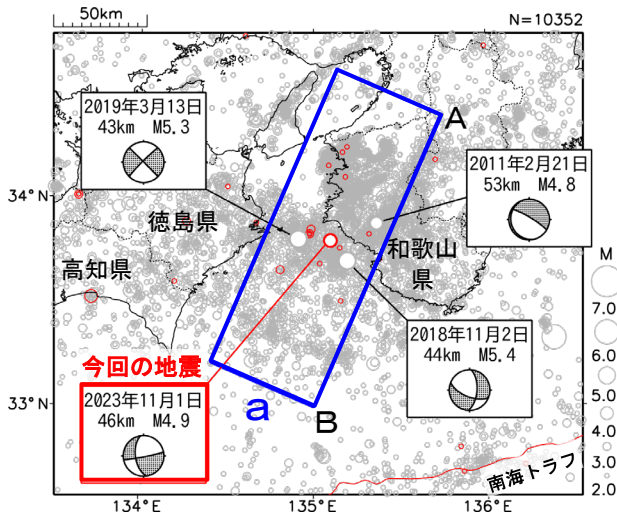


11月1日 紀伊水道の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～80km、 $M \geq 2.0$)
2023年11月の地震を赤色で表示



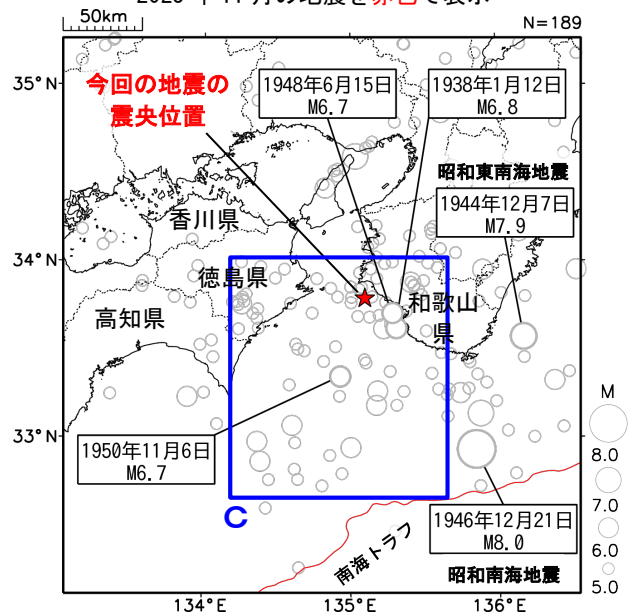
2023年11月1日07時34分に紀伊水道の深さ46kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、M5.0以上の地震も発生している。

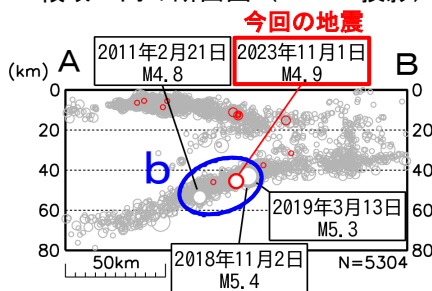
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺からその南側の南海トラフにかけての領域（領域c）では、1960年頃にかけてM6.0以上の地震が多数発生している。それらの地震のうち、規模が大ききものは、昭和東南海・南海地震前後に発生しており、例えば1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じている（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

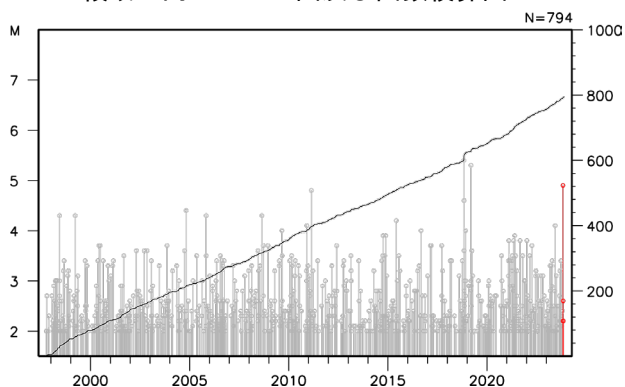
(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2023年11月の地震を赤色で表示



領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



領域c内のM－T図

